

公表

事業所における自己評価結果 令和 7 年度 児童発達支援

事業所名		通所支援事業所 あいらん		公表日		2026 年 2 月 20 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			・多機能型で発発、放デイ、生活介護を行う上で、電動ベッド等を導入していることもあり少し狭く感じてしまう。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・職員の休みが重なってしまうと支援が難しくなってしまう。 ・人員不足である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日、ソリューションウォーターやアルコールを使用して掃除を行っている。 ・清潔にできている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別の部屋はないが、控室の仕切りを利用し個別の場所を作ることができると思う。 ・重症心身障害児・者を対象としていることもあり、必要に応じてついでを使用したり、カーテンで仕切る等の対応ができる。 ・カーテン等で工夫できている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・ミーティングが行えている。	・業務改善に取り組むようになってきているが、PDCAサイクルでの取り組みができていない為、今後はPDCAサイクルに沿って取り組むことができるように改善が必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・意向を把握するための話し合いを設けている。	・現在児童発達支援の利用者がいないため、保護者評価は発生していない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・申し送りや定期的にミーティングや会議を実施する中で職員の意見を把握する機会が設けられていると思う。 ・話し合いの機会を何度も取っている	・業務改善にどこまで繋がれているのか把握ができていない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者による外部評価は行われていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・必要な研修は最低限取り組むことができている。	・年間研修や研修目標などを計画的に設定し、研修受講の機会の確保を拡げていく必要があると感じる。 ・今は人員不足である	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・現在取り組んでいる支援プログラムをホームページで公開し、現在の取り組みを公表している。	・適宜支援プログラムの見直しも必要だと感じている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・現在は利用者がいないが今後も適切なアセスメントを行い、個別支援計画を作成していく。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・現在は利用者がいないが、計画作成時に全ての職員が共通理解し、個別支援計画を作成していく。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・現在は利用者がいないが計画に沿った支援が行われるように努める。また、療育成長支援システム「HUG」の中で日々の記録の中で計画の振り返りができるため、有効活用していく。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・重症心身障害児を対象としていることも有り、最低限のアセスメントツールは使用するが、発達段階的な部分では、現状獲得している動作等、確実に見えていることは確認している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・各項目を踏まえて具体的な支援内容が設定されるように心がけている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員全体で活動プログラムを立案するようになっている。	・現在児童発達支援の児童がいないため不明	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節や状態、天気等さまざまな要素を考え、日常生活でも行っていることに加え、日頃できないことなどもプログラムに取り入れるようになっている。	・現在児童発達支援の児童がいないため不明	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			・現在児童発達支援の児童がいないため不明	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			・毎日とは出ていない。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・毎日とは出ていない。 ・現在児童発達支援がいないため、不明だが、他の事柄に関しては共有できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の支援内容については記録を行い、支援の検証ができるようになっている。	・現在児童発達支援の児童がいないため不明	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			・定期的なモニタリングは行っているが、他にも保護者との面談は増やす必要があると感じている。 ・現在児童発達の児童がいないため不明	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・南九HPのバイタルリンクなどに参加して連携を取っている。（情報共有システム）	・現在利用者がいない
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				・現在利用者がいない
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				・現在利用者がいない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受ける機会を設けているか。		○			・現在利用者がいないため不明
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○			・現在利用者がいない ・交流の機会がない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				・現在利用者がいないが、利用者がある時には取り組むようにしている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				・現在利用者がいない
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			・契約時に丁寧に説明するようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				・現在児童発達支援の利用者はいない
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○				・保護者会等の開催は不定期になっている。 ・現在児童発達の利用者はいない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				・迅速に対応できていなかった。 ・現在児童発達の利用者はいない
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			・行事予定は毎月発行して、活動概要は日々の連絡帳で写真等で発信している	・現在児童発達の児童は少ない
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○				

非常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・周知は行っているが、訓練はしていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			・訓練までは行うことができていない
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・確認できるようにしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			